

イチオシ!

MOVIE

『ぼくたちは見たーガザ・サムニ家の子どもたちー』

2008～09年のイスラエル軍によるパレスチナ・ガザ地区への空爆と地上侵攻では、家々やモスク、学校などが破壊され、300人の子どもを含む1,400人の犠牲が出た。本作は、20年以上パレスチナを追い続けるジャーナリストの古居みずえ監督が、この侵攻直後にガザに入り、報道されないガザの“その後”を、子どもの目線を通して描いたドキュメンタリー。一度に家族や親戚を29人も失った南ガザで暮らすサムニ家の子どもたち。それでも、彼らの“生きようとする力”は、国籍や宗教が違って見せる者の胸を打つ。「同世代の日本の子どもたちやその親たちに見てほしい」と古居監督。この地球上で、今苦しんでいる彼らを知ることが、世界を変える一歩かもしれない。



© アジアプレス・インターナショナル

2011年／日本／86分
監督：古居みずえ
公開：8月6日(土)よりユーロスペース(東京・渋谷)ほか、全国順次公開
URL：<http://whatwesaw.jp/>
問：アジアプレス・インターナショナル TEL：03-6279-1640

EVENT

『インドフェスティバル』&『アフリカフェスティバル』

NPO法人日本INGOが2つの国際交流イベントを同時開催。『インドフェスティバル』では、インド料理、紅茶、ワインなどをはじめ、伝統ダンスや楽器の演奏会、ヨガや伝統武術のパフォーマンスなどが楽しめる。また『アフリカフェスティバル』では、日本に住むアフリカ出身の人々が中心となり、ビールやチョコレートなどの食品、音楽演奏、子ども向けのゲーム、ファッションショーなどを通して、アフリカの文化を紹介する。インドとアフリカ両方の文化に触れられるこの機会。ぜひ出かけてみては。

日時：8月13日(土)・14日(日) 10時～20時(14日は19時まで)
会場：代々木公園(東京・渋谷)
■インドフェスティバル
URL：<http://indofes.jimdo.com/>
問：インドフェスティバル実行委員会事務局 TEL：03-6864-8614
■アフリカフェスティバル
URL：<http://afestmis.com/>
問：ビー・エム・アイ TEL：03-6454-7362

BOOK

『フェアトレードを学ぶ人のために』

近年、日本でも手軽に買えるようになったフェアトレード商品。一般的には、コーヒーやカカオといった低価格で取引されることが多い作物などを適正な価格で取引し、生産者の生計向上を目指す仕組みがフェアトレードと呼ばれる。しかし実は、定義があいまいな部分も多い。そこで本書は、フェアトレードの定義や仕組み、認証マークなどの基礎知識について解説。さらに、フィリピンやベリーズなどでのケーススタディーを通して、フェアトレードが開発途上国の人々に与えるインパクトに迫る。JICA、民間企業、NGO、研究者など、さまざまな立場の視点が盛り込まれたフェアトレード入門書。



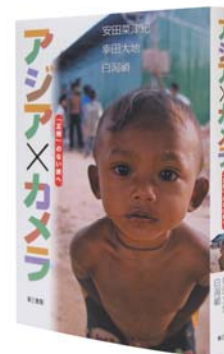
佐藤寛 編
世界思想社
2,520円(税込)

この本を
1人の方に
プレゼント
詳細は
38ページへ

BOOK

『アジア×カメラ「正解」のない旅へ』

アジアに影を落とす紛争、貧困、人身売買、差別などの問題を写真で表現し、2009年「日本ドキュメンタリー写真ユースコンテスト」に入賞した3人の若き写真家たち。「高校生の時に訪れたカンボジアで受けた衝撃を伝えることで、問題解決に向けたアクションが生まれるための種をまきたい」。「紛争下や差別を受けながら暮らす人々の一人一人が持つストーリーにスポットを当て、何か感じてもらいたい」。「カンボジアの地雷除去現場の取材を通じて、普通の生活の中に地雷があるという現実が存在することを伝えたい」。彼らはなぜカメラという手段で表現するのか、そしてなぜアジアの“日常”を撮り続けるのか、その胸のうちを本書で語る。



安田菜津紀 幸田大地 白湯禎 著
第三書館
1,680円(税込)

この本を
1人の方に
プレゼント
詳細は
38ページへ